

市が魅力を、価値を、エネルギーを「私に」伝える情報紙

広報とめ
トウ・ミー

To Me

3

Mar 2018
Vol.274



【ズームアップ】

三浦瑠衣

小野寺紘都

【特集】

感謝のキモチ

【今月の表紙】

佐沼どんと祭・裸参りから
(関連記事10ページ)

Proud!

被災地の復興を支援しよう

Japan

感謝のキモチ

【特集】

大人として新たな一歩を踏み出した新成人。
成人式のテーマは「第2のスタート」。
「感謝の気持ち」を大切にする新成人から
見たものとは。

— 平成30年成人式 —



1 鮮やかな衣装をまとって参列した新成人 2 式典の準備、運営に携わった実行委員の皆さん 3 誓いの言葉を述べる小野啓生さん(左)と阿部穂野花さん(右) 4 市長から記念品を受け取る後藤圭介さん=豊里町下町= 5 登米高生徒が、ボランティアで式典をお手伝い 6 佐沼小合唱隊が市民歌を斉唱 7 着付けボランティアの皆さんがお直し 8 スマホで自撮りするなど、同級生との再会を楽しむ



Coming of age celebration

新成人が生まれた1997年

- ◎邦楽ヒットチャート
 - CAN YOU CELEBRATE? / 安室奈美恵
 - HOWEVER / GLAY
 - 白い雲のように / 猿岩石
- ◎ヒット映画
 - タイタニック
 - もののけ姫
- ◎主な出来事
 - 消費税が3%から5%に
 - 冬季長野オリンピック開催
 - トヨタ自動車プリウスを発売

「追町大綱西」が「大人としての自覚を持ち、自分たちの夢や目標に向かって、日々努力していきます。また、これまで温かく見守っていただいた皆さんへの感謝の気持ちを忘れず、登米市を盛り上げ、社会に貢献していくことを誓います」と力強く誓いの言葉を述べ、決意を新たにしました。

人の支えがあったの今支えてくれた人に感謝

式では、私たちの主張や誓いの言葉などで、これまで支えてくれた家族や仲間などへの感謝の言葉が多く聞かれました。

人は生活する上で、一人では生きていきません。多くの人たちの支えがあって、生活が成り立っています。新成人は、式典の場に立ることにより、幸せを感じていました。



仲間に感謝。気持ちリセットし、信頼される消防士に 成人式実行委員長 八島祐太さん(追町・品の浦)

以前から、自分でイベントを企画、運営したいと思っていたので、実行委員長を引き受けました。企画段階で、委員全員が前向きな意見を出し、動いてくれたのが心強かったです。人間、一人では何もできないと感じました。あらためて、仲間に感謝したいです。

家族への寄せ書きや会場内に流すスペシャルBGMなどを企画。BGMは小・中時代にはやった

曲を選び編集したところ、みんなに喜んでもらえました。

今回の成人式のテーマ「第2のスタート」は、育ててくれた家族への感謝の気持ちと、未来に向けて新たなスタートを切るという意味を込めています。自分自身、気持ちをリセットして、これまで以上に信頼される消防士を目指し、努力していきたいと思っています。

新成人810人が大人の一步踏み出す

時折冷たい風が吹くものの、空には二十歳の門出を祝うかのよう、雲一つない澄んだ青色が広がりました。「平成30年成人式」は1月7日、登米総合体育館で開かれ、出席した新成人695人(男357人、女338人)が大人への第一歩を踏み出しました。

今年の新成人は810人で、昨年より62人減少しています。

正午過ぎ、会場にはスーツやほかま姿の男性や振袖で着飾った女性が集まり、華やかムードに。友人たちとの久しぶりの再会に、近況を語り合ったり、記念撮影をしたりと、会場内には笑みがこぼれていました。

午後1時から開かれた式典では、熊谷盛廣市長が「周りの人たちと協調しながら、何事にも若さと情熱を持って、失敗を恐れず挑戦してください。皆さんは立ちほだかる壁を乗り越え、今の登米市や社会を、より元気にしていきたい」と確信しています。

新成人を代表して小野啓生さん、追町下舟丁さんと阿部穂野花さん



二十歳を迎えて

→ Toward twenty years old



佐々木冬星さん
(津山町・石貝)

県外の大学で勉強をしています。知らない場所での生活は、寂しくなることもあります。今日は、久しぶりに地元の仲間と会えてうれしかったです。仲間や家族を、大切にできる大人になりたいと思います。

石巻市内の専門学校に通っています。専門学校に進学できたのも、両親が頑張ってくれているから。親孝行できる大人になりたいです。将来は看護師になり、病气やけがで苦しんでいる人を支えたいと思います。

鈴木愛彩さん
(追町・中江)



出会えたすべての人に感謝したい

渡邊康介さん
南方町苔野谷地上

私は、この20年間にさまざまなことに触れ、多くの人たちと出会うことができました。私は、中高とジュニアリーダーの活動を通して、ボランティア活動をしていました。今はジュニアリーダーを卒業し、「びいすかかんばにい」に所属しています。「ここで、子どもたちの地域活動の支援を続けているところです。」

この活動を通じて、自分の夢を見つめました。登米市を「子どもたちが笑顔で暮らせるまち」にすることです。現在は夢の実現に向けて、仕事とボランティア活動を両立しながら日々精進しています。感謝の言葉を伝えたいのは、愛情をたくさん注いでくれた「家族」です。これまで伝えることができなかった感謝の言葉を伝えます。「育ててくれてありがとう」です。最後に母へ。「俺を生んでくれてありがとう。お母さんの子どもで良かった。これからは、自分の夢をかなえることと、親孝行をしていきます。」

はたちの主張

新成人を代表し2人の「はたちの主張(要約)」を紹介します

どんな時も支えてくれたことに感謝

阿部未侑さん
米山町町吉田



私は登米市で生まれ、登米市で育ちました。幼い頃から家族や地域の人たちに見守られ、「こまで成長することができました。」

わが家は、両親が共働きで核家族。両親が苦勞していたのは、悪天候時の学校への送迎です。両親には、仕事を休んでもらうなどずいぶん迷惑をかけました。しかし、職場の理解もあり、2人とも嫌な顔をせず、対応してくれたので、勉強に専念できました。かぎっ子だった私が、一人で家にいる時は、地域の

感謝は連鎖する

心からの「ありがとう」は、相手だけではなく周囲も笑顔にし、連鎖していきます。

新成人は、両親や支えてくれた人々への感謝の思いを口にしました。子どもから大人まで、職場でも、学校でも、「感謝の気持ち」を持つことが大切だと教えられます。それはなぜでしょうか。一人一人がこの気持ちをを持つことで、幸せにつながると思われています。かつて、大リーグのニューヨークヤンキースに所属した松井秀喜氏など、多くの著名人が座右の銘としている言葉があります。

「心が変われば、態度が変わる。態度が変われば、行動が変わる。行動が変われば、習慣が変わる。習慣が変われば、人格が変わる。人格が変われば、運命が変わる。運命が変われば、人生が変わる。」これは、ヒンズー教の教えで「人生が変わる」までを分りやすく示しています。人生を変えるためには、まず「心」を変えること。それによって「態度」「行動」が変わり、最終的に「人生が変わる」という道筋です。スタートの心を変え「感謝」になります。つまり、幸せだから感謝するのでなく、感謝するから幸せが生まれるということです。感謝という言葉には「相手に何かしてもらったこと、ありがとう」といって心強く動き、それを言葉にして伝えること」という意味があります。感謝の気持ちを持つということは、相手に「ありがとう」を伝えるということです。心からの「ありがとう」は、相手だけではなく、周囲も笑顔にします。感謝は連鎖するのです。一人一人の「ありがとう」は、周囲から地域へ。地域からまち全体へ。新成人が教えてくれた「ありがとう」は、幸せな登米市をつくりまします。



いつでも自分を信じてくれている

清野さくらさん
中田町新橋

現在は、看護師を目指し千葉県内の看護専門学校で勉強をしています。看護師を選んだのは、人の役に立てる職業に就きたいと思ったのがきっかけです。病气やけがだけでなく、心のケアもできる看護師になりたいと思います。専門学校受験の時に、精

神的につらい時期がありました。両親から「自分なりに頑張ればいいんだよ」と言われ、気持ちが楽になりました。私のことを信じてくれているからその一言だと感じました。今はまだ夢の途中。家族の信頼を裏切らないよう、努力していきたいと思っています。

それぞれの感謝のカタチ 新成人×家族

自分の力を信じて進みたい道へ

清野義幸さん



小さい頃は人見知り、いつも泣いてばかりでした。しかし、他人の気持ちが分かる子どもで、その場の空気を察して、声掛けや笑いを提供してくれました。また、料理の手伝いや家族の世話をするなど、気の利く優しい子です。娘には、親の私たちのほうが感謝し

ています。「看護師を目指す」と言われたときに、他人の役に立つ仕事をしたいのだと思いました。これまでの人生、家族以外にも多くの人たちが、娘を支えてくれました。支えられたことへの感謝を忘れることなく、夢に向かっていってほしいです。



貴重な経験が自信になりました

佐藤紀和子さん
中田町川面

熊谷先生との出会いは、迫桜高入学後、合唱部に入部したとき。顧問が熊谷先生でした。先生は、部員一人一人に寄り添った指導をしてくれました。高い声が出せなかったときに、できるまで練習に付きあってくれたことは、忘れられない思い出です。

2年後半、パートリーダーに指名されました。正直、自分に務まるか不安でしたが、任されたからにはやるしかありません。戸惑うこともありましたが、仲間の協力もあり、やり通すことができました。先生が、背中を押してくれたことに感謝しています。

それぞれの感謝のカタチ 新成人×恩師

部員の成長は何にも代え難い喜び

熊谷聡さん
大崎市古川



入学当初の紀和子さんはシャイな女の子。他の部員と上手に接していけるか不安な様子でした。パートリーダーを選ぶ際、責任感のある彼女なら大丈夫と思い、任せることに。それから、周囲としっかり協力してパートをまとめてくれました。部活動の中で、お互い

を思いやり、感謝の気持ちを持つことを学んでくれたと思います。今回、成人式で実行委員を務めたとき聞きました。彼女の成長は、私にとっても何よりの喜び。迫桜の合唱部が自分をより良く変えていける場であったのなら、とてもうれしいことです。

「未来へのたすき」



女子第29回全国高校駅伝大会 優勝 仙台育英学園高校 1区 三浦瑠衣

優勝して、釜石監督を泣かせたいよねって、みんなで話していた。優勝して、監督の下に走っていったら、目を赤くして抱きしめられた。3年間で一番うれしかった。三浦は、はにかみながらほほを緩めた。

女子第29回全国高校駅伝大会は2017年12月24日、京都市の西京極陸上競技場発着のコース(5区間、21・0975^キ)で開かれ、仙台育英が歴代2位の1時間6分35秒の記録で、23年ぶり3度目の頂点に立った。三浦は、1区を任せられた。高校駅伝の1区は、最も重要な区間。1区に着順が、レース全体の流れを作り、その後の展開を大きく左右する。釜石慶太監督は、昨年10月の段階で三浦の1区起用を決断。高いレベルで走りも、精神面も安定している。こ一番は三浦しかない」と、起用の意図を明かす。1カ月前の東日本女子駅伝での三浦の1区起用は、本番を想定してのことだった。

×ンバーは、京都入り後に伝えられる。釜石監督の「1区三浦」の声に、三浦は「正直、2区から5区と聞いていた」と、驚きを隠せなかった。1区は、競技場から平野神社前までの6^キと、各区間の中で最長。中間点の西大路四条から始まる上り坂は、残り1^キの西ノ京町で角度が厳しくなる。試走では、昨年度1区を走った武田千捺主将(2年)からスタミナ配分のポイント、レース運びの目印などのアドバイスを受けた。

監督の指示は「一桁の順位でたすきを渡すこと。2区にケニア人留学生のエース、ヘレン・エカラレ(3年)を置き、3〜5区もスピードがある選手が選ばれた。エカラレで首位に立ち、それ以降、どこからでも勝負を仕掛けられる布陣を組んだ。

ス タート直後から、大阪薫英と筑紫女学園をマーク。トップ集団の中で隠れるように好走し、残り1^キの上り坂もペースを落とさず、トップと14秒差の7位でエカラレにたすきを託した。エカラレは900^キ付近でトップに立つと、2位に30秒以上の差を付けて、次につなぐ。3区以降、さらに貯金を増やし、2位に1分以上の圧倒的大差でゴールテープを切った。

元々三浦は、中距離の選手だった。800^キで県中総体に出場した三浦のスピードと、ピッチの効いた走りを見て、釜石監督がスカウト。走りからも「負けん気の強さが見えた」と、精神面の強さにもほれ込んだ。当初、私立への進学を考えていなかった三浦だが「全国で勝負したい」と、仙台育英に進学した。

強豪の日常は、三浦の想像を超えていた。起床時間は午前5時。午前6時から約1時間30分の朝練と、放課後は、午後4時過ぎから約3時間の練習。夕食を済ませ、8時30分までに帰寮しなければならぬ。洗濯や勉強を終えると、午後10時を回る毎日。毎晩のように「帰りたい」と母親に電

話をした。しかし、「辞めたい」とは一度も口にしなかった。

選手としての転機は1年の秋。補欠だが、全国駅伝のメンバーに選ばれた。大会をサポートするうちに「来年は都大路を走る」が目標になった。2年時は長距離に転向し、迎えた全国駅伝。チームは8位入賞を目指し、三浦は3区を走ったが、15位に終わった。そこから、三浦を含めチーム全体の意識が変わった。

「このままでは終われない」。練習での選手たちの目の色が変わった。口には出さないものの、常にタイムを競うようになった。「負けが選手を貪欲にした。練習量が増えても誰も音を上げなかった」と釜石監督。3年進級時、釜石監督は三浦に主将就任を打診した。三浦は「人数が多い2年生が、言いたいことを言える環境が必要」と断った。「副主将になり、主将を支え、走りチームを引っ張る」。自身初のインターハイ、国体で自己ベスト更新、各種駅伝大会で快走を続けるなど、言葉通り走りチームを支えた。

「1区を走らせてもらい感謝している。育英に進んだから、今の自分がある」。強豪校に進めば、誰しも成長するわけではない。大切なのは、自身がそこで何をやるかだ。高校卒業後、駅伝の名門、大東文化大に進学する。今よりも大きくなり、杜の都駅伝に帰ってくるはず。三浦は、自身の未来にたすきをつないだ。

Miura Rui

2000年1月4日、米山町千貫生まれ。仙台育英高3年。米山中時代、800^キで東北大会に出場するなど、中距離で活躍。高校進学後、1年から駅伝メンバー入りし、中距離から長距離に転向。3年時は、3000^キでインターハイと国体に出場し、それぞれ自己ベストを更新、大舞台での強さを発揮する。身長160^{センチ}。父、母、弟、祖父母、曾祖母の7人家族。好きな歌手は「back number(バックナンバー)」。

「五輪への覚悟」



第58回全日本ボート新人選手権大会
男子舵手つきフォア
優勝 日本体育大学
小野寺紘都

第58回全日本ボート新人選手権大会は2017年11月10から12日まで、埼玉県戸田市の戸田ボートコースで開かれ、男子舵手付きフォアで日本体育大学が優勝し、初の栄冠を手にした。

船首に最も近いこぎ手、バウで出場した小野寺は「本年度の目標は、全日本選手権での入賞と全日本大学選手権(以下、インカレ)での優勝。全日本は予選で負け、インカレは準決勝で負けて6位。この大会は落とせなかった。のどから手が出るほど欲しかった」と、自身初の全日本タイトルを獲得を心から喜んだ。

11月10日、予選当日。多少風はあったが、こぎづらという状況ではない。「できるだけの準備はしてきた。後はレースで全力を尽くすだけ」。前評判の高い大阪府立大が同組に入った。「落とせない大会、計算なしでゴールまで全力で行こう」と、小野寺はクルーに声を掛けた。

小野寺が務める「バウ」は、こぎ手全員の方を向いているので、声をかけて盛り上げたり、アドバイスをしたりと、クルーをリードする。艇の上下動が最も激しく、こぎのタイミングを合わせるのが難しいため、高い技術がなければこなせないポジションだ。

持 久戦では負けない自信があった。スタートの合図とともに、全力でこぎ出す。思ったより大阪府立大が出てこない。精神的に優位に

立った日体大は、終始ペースを変えずゴール。2位に17秒以上の大差をつけて、予選を通過した。

翌11日、準決勝と決勝が行われる。準決勝は、今大会最大のライバルと目した法政大と同組に。クルー間に重い空気が流れた。コースコンディションも悪くなかったため、先行逃げ切りの作戦で臨んだ。しかし、スタートで大きくミスをし、トップから3艇身離され4チーム中3位に。

全力でこいではいるものの、千点地点を超えてもライバル法政大はおろか、2位の東京経済大にも追いつけない。クルーたちにも焦りの色が見えた。「大丈夫だ、行ける。絶対落とすな」と、小野寺はげきを飛ばした。2位までが決勝それ以下は順位決定戦行き。是が非でも負けるわけにはいかない。

1 500m地点で、2位と1.6秒差。死に物狂いでこぎ続けた。ゴール直前、東京経済大に追いつき、並んでゴール。順位発表のアナウンスがなかなか出ない。艇から降りて、陸に上がったところでアナウンス。「1位、法政大、2位、日体大」。歓喜に沸く日体大クルー。喜んでばかりいられない。2時間後には決勝が待っている。腕と足をアイシングし、サポートメンバーからマッサージを受け、疲労回復に努めた。

「練習のスピードを出せれば負けない。決勝はいつも通り、持久戦の後半勝負で行くことに。スタートは

特に問題なかった。日体大は500m地点でトップに出る。練習通りのこぎができていたので、クルーに焦りはなかった。千点地点で、2位に4秒差をつけ、そのままゴール。悲願のタイトルを手にした。

小 野寺は、津山中から佐沼高に進みボート部へ入部。線が細いながらも、優れた瞬発力を持ち、オールを通して水に力を伝える能力に長けていた。高校時代の恩師、佐沼高ボートの三塚芳久監督は「入部してきるとき『期待できる』と思った」と、当時を振り返り、目じりを下げる。

性格は明るく前向きで、常に大きな目標を掲げる。「自分にプレッシャーを掛けて、それをばねに努力する」小野寺は、「高校日本代表になり、インターハイで優勝する」を公言。しかし、実力がありながらも、タイトルには縁がなかった。代表選考会は惜しくも落選、インターハイは0.07秒差で決勝進出を逃した。「あの悔しさがあるから、今も続けられる」。大学進学後は、日本一を目標に、ボート漬けの日々を過ごしている。

小野寺には大きな目標がある。「東京五輪に出場すること」。目標を達成には、今年1年をいかに過ごし、レベルアップできるかが「かき」になる。「余計なことを考えず、心と体に向き合い、どこまでも自分を追い込んでいくだけ」。自らのオールで、五輪をキヤッチする覚悟はできた。あとはこぎつづけるだけだ。

Onodera Hiroto

1997年9月17日、津山町平形生まれ。日本体育大学2年。柳津小、津山中時代は野球で活躍。佐沼高進学後、ボート部へ入部。持ち前の瞬発力と類まれな「こぎ」技術で、頭角を現し、高3時には「東北に小野寺あり」と言われ、和歌山インターハイ、シングルスカルで6位入賞を果たす。身長175cm。父、母、姉、妹、祖母の6人家族。趣味は料理と旅行で、好きな言葉は「一寸先は光」。

人が人として生きる 迫で男女共同参画講演会

「男女共同参画フォーラム・人権を考える講演会」は1月20日、登米祝祭劇場で開かれ、訪れた約200人の聴衆は、個人の人権の尊重について考えました。

講演会講師は、講演師・声優など多彩な活躍をしている一龍斎春水氏。大正時代から昭和初期に活躍した童謡詩人、金子みすゞの生涯を声優ならではの表現力と、講談話芸の深みを融合させた「新作講談」により、人権尊重の大切さを訴えました。鈴木ひで子さん(69)＝豊里町竹花＝は「この講談を聞き、金子さんの詩の本当の意味を知り、心に響きました。あらためて人権について考えさせられました」と話していました



耳が不自由な人向けに手話通訳者が、一龍斎氏の言葉を伝えました。

厳かに無病息災祈る 佐沼でどんと祭・裸参り

「佐沼どんと祭・裸参り」(登米中央商工会青年部主催)は1月14日、佐沼一市通りなどで開かれ、商工会青年部のほか、市内の企業、団体などから約200人が参加し、今年一年の無病息災などを祈願しました。

どんと祭・裸参りは、昭和54年から始まり、今年で40回目。参加者らは、さらしや白装束姿にたいまつを持ち、旧登米・南三陸フェスティバル前から約500名先の津島神社に向かいました。南三陸町へ被災地支援に訪れている原田高行さん(32)＝兵庫県南あわじ市＝は「自分、家族と皆さんが健やかに過ごせるよう祈願します」と平穏な一年を祈りました。



ゆっくり一歩ずつ歩みを進める参加者ら。気温は氷点下2度と冷え込みましたが、一行は静かに無病息災を祈願しました。

未来の登米市を提案 中田で未来新聞コン開催

「第10回子どもたちが考える登米市の未来新聞コンクール表彰式」は1月28日、中田農村環境改善センターで開かれました。

コンクールは、未来を支える子どもたちが、まちづくりに興味を深めることが目的。本年のテーマは「2025年 わたしが住む自慢のまち」で、小学生の部11校55作品、中学生の部5校19作品の応募があり、児童、生徒らは、自分たちの作った新聞の内容を発表しました。最優秀賞には、東郷小6年1組「レインボーフューチャー」チームと新田中1年1組「Ambitions」チームが選ばれました。



受賞した全グループが作品を紹介。自由な発想の中に、取材や調査がしっかりしており、非常に読み応えのある新聞です。

火遊び絶対しないよ 米山で女性団員防災教室

市消防団女性団員による「防災教室」は1月16日、米山東幼稚園で開かれ、園児たちに火の取り扱いの注意喚起をしました。

女性団員が園児を対象にした防災教室は、県内で初の取り組み。団員は、火遊びの怖さを伝える人形劇、火事が起きた際の避難方法などを指導しました。園児らは「子どもだけで絶対火遊びはしません」と、大きな声で誓いました。市消防団米山支団本部分団の鈴木すず江副分団長(65)は「子どもたちの真剣な顔を見て、火災予防の大切さをしっかり伝えなければならないと感じました」と防火普及の重要性を再認識していました。



人形劇では、子どもだけで火遊びをし、お父さんとお母さんが駆けつけ、火を消し止めました。団員の演技に園児は大喜び。

登録増と信頼性向上 空き家バンク協定を締結

「登米市空き家情報バンク事業に関する協定締結式」は1月29日、市役所迫庁舎で開かれ、市は県宅地建物取引業協会(佐々木正勝会長)、全日本不動産協会県本部(小林妙子本部長)と協定を結びました。

県内で、両協会と空き家情報バンク事業の協定を結ぶ自治体は2例目。同事業は、移住・定住促進などのために、08年から開始し、これまで20件が成立しています。しかし、昨年12月末現在で、利用希望登録55件に対して、空き家登録17件となっています。両協会と協定を結んだことで、登録物件の増加と、信頼性の向上につながる効果が期待できます。



協定書にサインする佐々木会長、熊谷市長、小林本部長(写真左から)。

学校再編地域と共に 各町域で学校再編座談会

「学校再編に係る地域座談会」は1月15日から25日まで、市内9町域で開かれ、市教育委員会から小・中学校の再編についての説明と意見交換をしました。

市教育委員会は、児童数が減少傾向にあることから、当面小学校の再編を検討。昨年5月1日時点の22小学校の児童数は3902人で、6年後の2023年には527人減の3375人になると予想されています。これにより、19校で全学年1クラスになる見込み。市教委は、人間関係の固定化や序列化が生じないように、全学年でクラス替えができる規模を理想と考えています。座談会で頂いた意見を参考に、学校再編基本構想を策定する予定です。



「具体的な学校再編はいつ頃始まる予定なのか」などの意見が寄せられました。

01 4月1日から 市民バスの運行時刻を改正

市民バス利便性向上などのため、4月1日から次の路線の運行時刻を改正します。

●**新田線**▼1便⇨休日運行便の始点を「新田公民館前」に変更▼9便⇨「くりこま高原駅前」の始発を10分遅らせ、午後6時50分に変更▼11便⇨「くりこま高原駅前」午後8時15分発を増便

●**南方線**▼9便⇨休日運行便の終点を「佐沼高校正門前」に変更

【問い合わせ】企画部市民協働課(地域振興係)
☎0220(22)2173



02 「みやぎ鎮魂の日」に一斉黙とうを

県は、3月11日を「みやぎ鎮魂の日」に定めています。市は、震災で亡くなられた人を追悼し、震災の記憶を風化させることなく後世に伝えていくため、一斉黙とうを実施します。ご理解とご協力をお願いします。

【実施日時】3月11日(日)午後2時46分

【実施方法】防災行政無線のサイレン吹鳴を合図に、一斉黙とうを実施

【問い合わせ】総務部防災課(防災危機対策係)
☎0220(22)2130

03 軽自動車税を減免します

身体障害者手帳などをもち、一定の要件に該当する場合は、軽自動車税を減免します。手帳の等級、車両の所有者、運転者を確認しますので、期間内に申請してください。

【申請書類】▼減免申請書(税務課、各総合支所で配布)▼自動車検査証▼運転免許証▼身体障害者手帳▼戦傷病者手帳▼精神保健福祉手帳▼療育手帳▼マイナンバー通知カード▼マイナンバーカード▼印鑑

【申請期間】4月2日(月)～24日(火)▼納期限の7日前まで受け付け

※継続申請者には、3月下旬に申請書を郵送します。

【申請先・問い合わせ】総務部税務課(市民税係)
☎0220(22)2163
▼各総合支所市民課(市民係)



■南方線

佐沼方面行き(停留所・便別)	9便 改正後
瀬峰駅前	17:55
循環器呼吸器病センター入口	17:56
循環器呼吸器病センター	17:57
宮小路原	17:59
下山団地入口	18:00
上沼崎	18:02
沼崎下	18:03
大平	18:04
西郷	18:05
狼の欠	18:06
大坂	18:08
高石	18:10
南方中学校前	18:11
南方総合支所	18:13
松島屋敷	18:15
板倉	18:16
飯島	18:18
萩洗	18:20
登米市役所	18:23
ミヨーバス佐沼営業所	18:25
佐沼郵便局前	18:26
登米市民病院前	18:27
津島神社前	18:29
一市	18:30
五日町	18:31
的場	18:31
佐沼高校正門前	18:32
登米総合産業高校前	18:42

■新田線

佐沼方面行き(停留所・便別)	平日のみ運行		
	1便 改正後	9便 改正後	11便 増便
くりこま高原駅前	6:50	18:50	20:15
新田公民館前	7:06	19:06	20:31
JA新田支店前	7:08	19:08	20:33
新田駅前	7:09	19:09	20:34
坂戸	7:10	19:10	20:35
沼口	7:11	19:11	20:36
穴山	7:13	19:13	20:38
北方飯土井	7:14	19:14	20:39
三方島	7:18	19:18	20:43
東新土手	7:19	19:19	20:44
飯屋	7:21	19:21	20:46
斜橋	7:22	19:22	20:47
JA北方支店前	7:23	19:23	20:48
舟橋	7:24	19:24	20:49
舟橋前	7:25	19:25	20:50
西館	7:26	19:26	20:51
佐沼中学校前	7:27	19:27	20:52
佐沼高校北	7:30	19:30	20:55
的場	7:31	19:31	20:56
五日町	7:31	19:31	20:56
一市	7:32	19:32	20:57
津島神社前	7:33	19:33	20:58
登米市民病院前	7:35	19:35	21:00
佐沼郵便局前	7:36	19:36	21:01
登米市役所	7:38	19:38	21:03
ミヨーバス佐沼営業所	7:40	19:40	21:05
登米総合産業高校前	7:55	—	—

04 火の用心 ことばを形に習慣に

平成30年春季全国火災予防運動が、3月1日から7日まで展開されます。

市消防本部では、次の3項目を重点目標に、火災予防運動を実施しますので、ご理解とご協力をお願いします。



- ① 住宅防火対策の推進
- ② 林野火災予防対策の推進
- ③ 車両火災に対する防火安全対策の徹底

【2017全国統一防火標語】

「火の用心 ことばを形に習慣に」

- **住宅防火・命を守る七つのポイント**
- 【三つの習慣】
- ① 寝タバコは絶対やめる
- ② ストープは燃えやすいものから離れた位置で使用する
- ③ ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す

- 【四つの対策】
- ① 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する
- ② 寝具、衣類やカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する
- ③ 火災を小さいうちに消すため、住宅用消火器を設置する

05 移住・定住促進に向け、住宅家賃を助成 新生活を応援する「住まいサポート」

市内に転入し、民間住宅などを賃借した夫婦の家賃を助成します。

【対象者】①平成28年1月1日以降に市内に転入し、2年以内に民間住宅などを賃借したとちらかが40歳未満(転入日時点、平成28年1月1日～平成29年3月31日に転入した場合)、平成28年4月1日時点の夫婦

②市税などの滞納が無い人

【補助金額】民間住宅(公的賃貸住宅、官舎、社宅、社員寮は対象外)の家賃から、住宅手当相当額を控除した家賃の2分の1(月額1万5千円を限度)

※平成29年10月～平成30年3月の家賃支払実績に基づき、補助金を交付します。

【申請期間】3月1日(木)～30日(金)

※申請方法など、詳しくはお問い合わせください。

【問い合わせ】企画部企画政策課(移住・定住促進係)／移住・定住相談専用ダイヤル
☎0220(23)7331
✉tome-life@city.tome.miyagi.jp
【URL】http://www.city.tome.miyagi.jp/kikakuseisaku/shiseiho/juteju/jutakushu/toku/sunaisupport.html

06 Jアラートの緊急情報を即時に 情報伝達訓練を実施

市は、全国瞬時警報システム(Jアラート)から送られてくる弾道ミサイル発射などの緊急情報を、防災行政無線などで確実に皆さんにお伝えするため、本年度2回目の情報伝達訓練を実施します。

【日時】3月14日(水)午前11時から

- 【問い合わせ】消防本部予防課(予防建築係)
☎0220(22)1900
- 【問い合わせ】総務部防災課(防災危機対策係)
☎0220(22)2130

情報伝達手段	放送内容(訓練)
① 防災行政無線	市内に設置している全ての防災行政無線から、一斉に次のように放送します。 【放送内容】(上リチャイム音)→「これは、Jアラートのテストです」×3回→「こちらは、防災登米市広報です」→(下リチャイム音)
② コミュニティFM放送	コミュニティFM「はっとエフエム」で、次の内容を放送します。 【放送内容】(無音1秒程度)→「こちらは、登米市役所です。緊急放送をお知らせします。発表日時2018年3月14日0時0分0秒、即時音声合成メッセージが発令されました。これは、Jアラートのテストです」
③ 登米市メール配信サービス	登米市メール配信サービスに登録している人のパソコンや携帯電話に、次の内容のメールを送信します。 【送信内容】件名:即時音声合成メッセージ発表/本文:「発表日時2018年3月14日0時0分0秒、即時音声合成メッセージが発令されました。これは、Jアラートのテストです」

※登米市以外の地域でも、全国的に訓練が実施されます。

Information 07

あなたの会社広告を市公用車に



市公用車への広告掲載希望者を募集します。皆さんのお店などの走る広告塔としてご利用ください。

【対象者】市内の事業所や事務所、店舗などを持つ個人、法人

【広告掲載車両】軽ワゴンタイプの車両11台(年間走行距離1万キロ以上、年間稼働日数200日以上)

【申込受付期間】2月20日(火)～3月7日(水)

【申込方法】申込書に必要事項を記入の上、郵送または持参ください(郵送の場合は、「公用車広告掲載申込」と記載してください)

※詳しくは、総務部総務課までお問い合わせください。

広告サイズ掲載位置	1台につき3枠(縦30センチ×横50センチ[車両両側後列ドア2枠、後部1枠])※広告内容に「登米市有料広告」の表示をすること(サイズ縦3センチ×横24センチ以上)
掲載方法	ラッピングフィルムやカットティングシートなど、容易に剥がれる素材を貼り付けるものとします(車体への直接塗装はできません)
掲載期間	平成30年4月～平成31年3月末
掲載料	1台当たり4千円/月(年額4万8千円)※広告の製作費、車両への貼り付け、撤去費用は広告主の負担となります

Information 09

宿泊しながら農作業のお手伝いファームステイ受入会員を募集



市グリーン・ツーリズム推進協議会は、平成30年度に予定している宿泊農業体験(ファームステイ)の受入会員を募集します。

ファームステイでは、子どもたちを自宅に宿泊させ、農作業や家事手伝いなど、農家の暮らしを体験してもらいます。

特別なことをする必要はなく、普段の仕事子どもたちと一緒に作業します。受入会員には、料金をお支払いしません。

【受入人数】1戸当たり3～5人程度

【受入料金】1泊2日/1人当たり7千円

【申込方法】電話

【年会費】千円

【申し込み・問い合わせ】市グリーン・ツーリズム推進協議会事務局(産業経済部商業観光課内)

☎0220(34)2734

Information 08

レンタカーを利用した観光を支援 キャッシュバック事業協力店を募集

市は、レンタカーを利用し、市内協力店で宿泊や食事をした観光客などに、金額に応じたキャッシュバック事業を実施しています。

平成30年度の事業実施に伴い、市内宿泊施設や飲食店などの協力店を募集します。

【協力内容】専用スタンプカード提示者に、500円の利用

【登録受付期間】2月20日(火)～3月2日(金)

【登録方法】市ホームページに掲載、または産業経済部商業観光課に備え付けの「事業協力店登録届出書」に必要事項を記入の上、FAX、メール、郵送、持参のいずれかに提出してください。郵送の場合は、

3月2日(金)必着とします ※現在登録している協力店の届け出は、ありません。

【申し込み・問い合わせ】産業経済部商業観光課(観光物産係)

☎0220(34)2734

☎0220(34)2802

✉syogyokankoko@city.tome.miyagi.jp

Information 10

市立病院に就職希望の看護学生に奨学金を貸し付け

市は、看護師として将来市立病院での勤務を考えている看護学生に、奨学金を貸し付けます。

●市看護師奨学金

【貸付対象者】看護師養成施設に在学する学生で、将来看護師として市立病院(診療所・老人保健施設を含む)に勤務しようとする人

【募集人員・貸付金額】8人程度、月額10万円以内

【貸付期間】貸付決定月から、看護師養成施設を卒業する月まで(看護師養成施設の修学年数を限度)

※要件に該当した場合、償還が全額免除になる場合があります。

●市看護師修学一時金

【貸付対象者】看護師奨学金貸付対象者のうち希望者

【募集人員・貸付金額】7人程度、20万円以内

【償還方法】無利子貸付(償還免除の制度なし)とし、看護師奨学金貸付の最後の月から10年以内に償還

●必要事項

【連帯保証人】2人(1人は家族可、他1人は別世帯で独立生計を営む人)

【申込方法】次の書類を郵送、または持参してください

①貸付申請書

②在学証明書(4月入学予定者は合格通知書、または入学通知書の写し)

③入学後に在学証明書提出

④戸籍抄本

⑤在学する大学の学長、学部長、看護師養成施設の長などの推薦調書(4月入学予定者は不要)

⑥その他、市長が必要と認める書類(医学生奨学金等貸付応募理由書、履歴書、健康診断書など)

▼様式は、医療局ホームページに掲載

☎0220(44)4795

Information 11

登米市民病院の院内ボランティアを募集

登米市民病院は、ボランティアを募集しています。

【活動内容】院内の案内や車椅子の介助など

【活動時間】平日午前8時30分～正午

※年齢、性別、経験を問いません。都合のいい時間帯を選ぶことができます。

【問い合わせ】登米市民病院事務局

☎0220(22)5511

Information 12

看護師、薬剤師など市医療局職員を募集

職種	採用予定人員	受験資格
看護師	5人程度	【免許保有者】昭和43年4月2日以降に生まれた人 【免許取得見込者】昭和53年4月2日以降に生まれ、平成30年3月31日までに卒業する見込みで免許取得見込みの人 ※長期勤続によるキャリア形成の観点から、応募資格年齢を制限しています。
薬剤師	3人程度	薬剤師の免許保有者、または平成30年3月31日までに卒業見込みで免許取得見込みの人
診療放射線技師	1人程度	診療放射線技師の免許保有者、または平成30年3月31日までに卒業見込みで免許取得見込みの人

試験日程	
試験日	平成30年3月21日(水・祝)
会場	登米市民病院 地域医療連携センター
試験内容	小論文試験(1時間)、人物試験、健康診断、資格調査
合格発表	平成30年3月30日(金)に合格者の受験番号を市ホームページに掲載し、結果を全員に郵送で通知

※合格者は任用候補者名簿に登録し、登録者の中から採用者を決定します。合格者全員が採用されるとは限りませんのでご注意ください。採用は、平成30年5月1日の予定です。

【受験申込書の配布】申込書は、医療局経営管理部総務課で配布します。郵便で請求する場合は、封筒の表に「応募職種名」と「採用試験申込書請求」を朱書きの上、宛先を明記し、120円切手を貼った返信用封筒(A4版が入る大きさ)を必ず同封してください

【受付期間】平成30年2月20日(火)～平成30年3月15日(木)

【申し込み・問い合わせ】医療局経営管理部総務課(人事係)

〒987-0511 登米市追町佐沼字下田中25(登米市民病院内)

☎0220(44)4795

3月の献血日程

- ① 3日(土) ▶イオンタウン佐沼 10:00~11:45 13:00~16:30
- ② 18日(日) ▶イオンタウン佐沼 10:00~11:45 13:00~16:30
- ③ 22日(木) ▶登米合同庁舎(登米保健所前) 13:30~16:30
- ④ 24日(土) ▶イオンタウン佐沼 10:00~11:45 13:00~16:30

※日程は変更になる場合があります。最新の日程については、市ホームページをご覧ください。下記にお問い合わせください。

【問い合わせ】
市民生活部健康推進課
(健康推進係)
☎ 0220(58)2116

障がい者の社会参加を促進 燃料費・タクシー利用を助成

●**障害者自動車燃料費助成事業**
【内容】指定給油所で、給油の際に利用できる利用券(1枚千円分)を交付。月2枚まで利用可能(年間最大24枚)

【対象者】世帯の住民税が非課税で、次のいずれかに該当する人
①身体障害者手帳1・2級、内部3級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1・2級で、自動車を所有し運転している、または障がい者のために運転する
②身体障害者手帳下肢3級で、自動車を所有し運転している
③療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1・2級、または18歳未満で身体障害者手帳1・2級、内部3級のうち、障がい者のために運転する

※福祉タクシー利用助成事業・透析患者通院費助成事業の利用者、社会福祉施設入所者、申請時に継続して3カ月以上入院している人、生活保

護受給者は対象外。
【対象車両】普通自動車、小型自動車、軽自動車で4輪以上
※携行缶など、対象車両以外の給油はできません

【交付手続き】3月1日(木)から、各総合支所市民課で随時受け付け、交付
【持参するもの】①障害者手帳②運転免許証③車検証④印鑑

●**福祉タクシー利用助成事業**
【内容】指定タクシー乗車の際に利用できる利用券(1枚小型タクシー基本料金を交付。月4枚まで利用可能(年間最大48枚))

【対象者】本人の住民税が非課税で、次のいずれかに該当する人
①身体障害者手帳1・3級で、在宅酸素濃縮器が車椅子を常時利用している
②療育手帳A
③精神障害者保健福祉手帳1・2級
※障害者自動車燃料費助成事業・透析患者通院費助成事業利用者は対象外。

【交付手続き】3月1日(木)から、各総合支所市民課で随時受け付け、交付

【持参するもの】①障害者手帳②印鑑
※各事業とも、平成29年1月1日以降に市内に転入した場合は、前住所地の市区町村から、住民税の課税非課税(証明書を取り寄せ、申請時に提出してください)。

【問い合わせ】
▼福祉事務所生活福祉課(障害福祉係)
☎ 0220(58)5552
☎ 0220(58)2375
▼各総合支所市民課(市民係)

登米市社会福祉協議会の講座で手足のマッサージ技術を学び、2016年に結成した「登米市足もみた〜い」が、「フット&ハンドマッサージボランティア養成講座」を開催します。ボランティアの皆さんは、市内福祉施設やイベントなどで活動中。詳しくは、お問い合わせください。
【日時】3月12日(月)〜13日(火)午前10時〜午後4時
【場所】追公民館
【内容】自分や相手の手足をマッサージする技術を学ぶ
【定員】20人
【受講料】無料
【申込期限】2月23日(金)



イベントなどで活動する「登米市足もみた〜い」の皆さん

【申し込み・問い合わせ】
▼登米市社会福祉協議会本部
☎ 0220(21)6310
▼登米市社会福祉協議会各支所

認知症専門相談 精神科医が応じます

高齢者で「最近物忘れが多くなった」「元気がなく、何もやろうとしない」「元気がなく、何もやろうとしない」「病院に連れて行きたいけど、本人が行きたくない」と言っている「同じことを何度も繰り返し話すようになった」など、気になることや困っていること、気がなさらぬこと、ご相談ください。
精神科医が相談に応じます。事前に予約が必要です。各、各地域包括支援センターまでご連絡ください。
【日時】3月23日(金)午後1時30分〜

**登米いのち
ホットテレホン**
はなそうとめ
☎ 0120(870)108
(登米市民専用)
登米いのちホットテレホンは…
○24時間いつでもかけられます。
○名前を名乗る必要はありません。
○電話相談員は、2年間の研修を終了し、認定された人たちです。
○固定電話のほか、携帯電話、PHSからもご利用いただけます。

子ども夜間安心コール
●電話番号
#8000
(プッシュ回線の固定電話、携帯電話から)
☎ 022(212)9390
(プッシュ回線以外の固定電話、PHSから)
●相談時間
毎日午後7時〜翌朝午前8時

休日・夜間診療案内
休日・夜間診療案内は下記の番号です(24時間対応)
☎ 0229(24)2267

3月の休日当番医

日	休日急患当番医	歯科休日当番医
4日(日)	登米診療所(登米町) ☎0220(52)2175	登米歯科診療所(登米町) ☎0220(52)3420
11日(日)	三浦消化器内科(中田町) ☎0220(34)3611	おおさか歯科医院(中田町) ☎0220(34)6668
18日(日)	米川診療所(東和町) ☎0220(45)2301	ちば歯科クリニック(迫町) ☎0220(22)6007
21日(祝)	サンクリニック(南方町) ☎0220(29)6060	津山歯科診療所(津山町) ☎0225(68)3244
25日(日)	大坂医院(中田町) ☎0220(34)6625	フジ歯科クリニック(迫町) ☎0220(22)7751

●診療時間 9:00~17:00
【休日急患当番医】
●休日・夜間診療案内 ☎0229(24)2267 [24時間]
●第2次診療 登米市民病院 ☎0220(22)5511
【問い合わせ】登米市医師会 ☎0220(22)2084
※月~金曜日(休日を除く)
【歯科休日当番医】
【問い合わせ】市民生活部健康推進課 ☎0220(58)2116
※当番医は、変更する場合があります。各医療機関に確認の上、受診ください。

3月のこころの相談

日	場所・時間・予約先・担当
5日(月)	中田保健福祉会館 13:30~16:00 ☎0220(34)2311(中田総合支所) 医師
6日(火)	登米総合支所 9:30~12:30 ☎0220(52)5054(登米総合支所) 医師
8日(木)	迫保健センター 14:00~17:00 ☎0220(22)5554(迫総合支所) 臨床心理士・精神保健福祉士
13日(火)	米山総合支所 10:00~15:00 ☎0220(55)2112(米山総合支所) カウンセラー
14日(水)	豊里公民館 13:30~16:30 ☎0225(76)4113(豊里総合支所) カウンセラー
20日(火)	石越総合支所 13:30~16:30 ☎0228(34)2113(石越総合支所) 医師

精神科医師などが相談に応じます。安心してご相談いただくため、完全予約制です。相談日(土日を除く)までに、各予約先までお申し込みください。

登米市民病院小児科日曜日救急診療

●診療時間 9:00~17:00 (16:30まで受け付け)
【問い合わせ】登米市民病院 ☎0220(22)5511

【場所】市役所南方庁舎(1階相談室) 【連絡先】

- ▼追地域包括支援センター ☎0220(22)1152
- ▼中田・石越地域包括支援センター ☎0220(34)7611
- ▼石越分室 ☎0228(34)4151
- ▼東和・登米地域包括支援センター ☎0220(53)4811
- ▼登米分室 ☎0220(52)5090
- ▼米山・南方地域包括支援センター ☎0220(29)5821
- ▼南方分室 ☎0220(58)4311
- ▼津山・豊里地域包括支援センター ☎0225(68)3780
- ▼豊里分室 ☎0225(76)4811

【問い合わせ】福祉事務所長寿介護課(長寿社会係)
☎0220(58)5551

**介護職員研修・パソコン講習
ひとり親家庭の就業を支援**

●**介護職員初任者研修課程(前期)**
【日時】4月8日(日)〜9月30日(日)
午前9時〜午後5時(毎週日曜日・平日2日間実習あり/計23回開催)
【場所】宮城県母子・父子福祉センター

【対象】県内に在住するひとり親家庭の親または寡婦で、全日程受講できる人

【定員】15人
【受講料】無料(教材費・実習費は、別途自己負担) 9千円程度
【託児】無料(3歳〜小学3年)・要予約
【申込期間】3月12日(月)〜22日(木)必着
●**パソコン講習マイクロソフトワード2013**
【日時】4月22日(日)〜7月29日(日)午前9時〜午後5時(毎週日曜日/計14回開催)
【場所】宮城県母子・父子福祉センター

【対象】県内に在住するひとり親家庭の親または寡婦で、全日程受講できる人
【定員】10人
【受講料】無料(教材費・検定料は、別途自己負担) 1万6千円程度
【託児】無料(3歳〜小学3年)・要予約
【申込期間】3月19日(月)〜4月2日(月)必着
【申込方法】官製はがき、またはファクシミリで、講習名、住所、氏名、電話番号、託児の有無(年齢)を記入して申し込みください
【申し込み問い合わせ】宮城県母子福祉連合会 ☎983-0832 / 仙台市宮城野区安養寺3丁目7番地3 / 宮城県母子・父子福祉センター内
☎022(256)6512



豊里

誰のが飛んだ。昔遊び楽しむ

学校支援ボランティア活動「竹とんぼ作り」は1月17日、豊里小・中学校で開かれ、児童らは昔遊びに親しみました。講師は、町内在住の志賀元一さん。志賀さんが、竹をなたで割るところから実演すると、児童はもの珍しそうに眺めていました。6年生は竹とんぼの羽根を製作。児童らは使い慣れない小刃と竹の感触に苦労しながら、作業をしました。講師から、全員に竹とんぼをプレゼントされると、みんな夢中になって飛ばし、高さなどを競い合っていました。

暖かい部屋で頭も体も健康に

「お茶飲み会」は1月24日、山吉田行政区コミュニティセンターで開かれ、15人が参加し、地域内の人たちと会話や運動を楽しみました。よねやまスポーツクラブの職員を講師に、運動教室も開催。参加者らは、講師の指導でストレッチと貯筋運動をしました。貯筋運動では、鍛えているところを手で触り、運動の効果を確かめながら、体を動かしました。暖かな部屋で口と体を動かし、楽しいひとときを過ごしました。



米山

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



迫

銀世界で若者が交流を深める

青年セミナー「スノーボード教室」(迫公民館主催)は1月21日、岩手県夏油高原スキー場で開かれ、町内から36人が参加し、ウィンタースポーツを通じて交流を深めました。教室は、迫町内で活動する若者の交流と親睦を深めることが目的。同日は、天候や雪質にも恵まれ、スキル別に4つのクラスに分かれ、インストラクターから指導を受けました。参加者らは、雪上でも移動のバス内でも、会話を楽しみながら親睦を深めました。



石越

剣士ら熱戦で寒さ吹き飛ばす

「第64回石越町剣道大会」(石越町剣道協会主催、工藤孝志会長)は1月21日、石越公民館で開かれ、町内の剣道愛好家約50人が熱戦を繰り広げました。試合前には日本剣道形の演武を実施。試合は紅白戦や年代別の個人戦で、日頃の稽古で身に付けた技術を競い合いました。小学生低学年の部では、本年度から剣道を始めた3年生同士が対戦。寒さに負けず、対戦相手に向かって一本一本元気に竹刀を打ち込んでいました。

交通死亡事故ゼロ7500日達成

「交通死亡事故ゼロ7500日達成表彰式」は1月30日、登米総合支所で開かれ、登米市交通安全対策協議会と登米警察署から葛籠淵地区コミュニティ推進協議会(千葉勝博会長)へ表彰状が贈られました。同地区は、1997年7月から交通死亡事故ゼロを継続しており、2018年1月26日に7500日を達成。千葉会長は「地域の絆を深めながら、さらに交通安全運動に取り組み、8千日と積み上げていきたい」と決意を述べました。



登米

郷土かるたで地域の学び深め

今年で29回目を迎える「新春郷土かるた大会」は1月14日、南方農村環境改善センターで開かれました。大会は、町内10行政区から約140人が参加。個人の部は未就学児・小・中学生が5部門54人で、団体の部は3行政区から4チーム19人で対戦しました。使われたかるたは、南方町の歴史や史跡名勝、特産物などが描かれた「郷土かるた」。参加者らは、競い合いながら、生まれ育った地域を学び、楽しい1日を過ごしました。



南方



東和

貴重な文化財を火災から守る

「東和町文化財防火訓練」は1月28日、東和町錦織「普慶院」で開かれ、地域の自主防災組織、消防団員、消防後援会員や婦人防火クラブ員ら、約110人が参加しました。防火訓練は、境内で火災が発生したことを想定。通報・消火訓練、非常時持ち出し訓練、消火器の取り扱い訓練などを実施しました。参加者らは、日頃の訓練と火災を出さないことの重要性を再認識し、貴重な文化財を火災から守ろうと、本番さながらに真剣に取り組みました。



津山

訓練を通じ防災意識を高める

「津山町文化財防火デー防災訓練」は1月28日、津山町柳津「麻崎神社」で開かれ、地域住民や関係者ら約60人が参加し、貴重な文化財を守るための初期消火や物品搬出の手順を確かめました。訓練は、近隣の山林から出火、神社に延焼の恐れがある想定で実施。119番通報・重要物品の搬出・初期消火などを演習しました。演習終了後、消防署員による応急手当講習を受講し、非常時への備えと防災の重要性を再認識しました。

冷たい白雪で熱い友情を育む

浅水コミュニティ運営協議会(羽生進会長)の「自然体験交流事業」は1月20、21の両日、秋田県横手市増田町で開かれ、浅水小4～6年生の児童28人が参加し、同市増田小児童と交流しました。同事業は、夏に増田小児童が中田町に訪れ、冬は浅水小児童が増田町に出向き交流。児童らは、本市ではあまり体験できない雪国ならではのかまくら作りやスキーなどで親睦を深め、夏の再会を約束しました。



中田

1月31日までの3歳6カ月健診でむし歯のなかった子どもたち



むし歯がなかった子は、市内9地区で43人中35人でした

いつまでもお元気で

おめでとうございます 祝100歳



芳賀 のふ子さん (米山町・城内) 大正7年1月17日生まれ

本市出身の大横綱丸山権太左衛門の生家に嫁いだのふ子さんは、4人の子宝に恵まれました。結婚後、夫久雄さんの仕事は中国の日本領事館の巡査。終戦まで帰国できなかつたため、のふ子さんが家を守りました。

現在の日課は、算数の問題を解くこと。もともと計算が得意で、家族が問題を作ります。長男の健一郎さんはこれまで苦労してきたので、いつまでも長生きしてほしいと話していました。

非常時にも口腔ケアをしっかりと

災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。万が一災害が起きたとき、歯磨きやうがいなどの口腔ケアがあなたの命を守ります。

【命を守るケア】口腔ケアは、肺炎、インフルエンザや風邪などの呼吸器感染症を予防します

【災害時には】▶水が不足している場合は、食後にお茶を少しずつ口に含み、数回実施 ▶歯ブラシがない場合は、ティッシュなどで歯や歯茎、入れ歯に付いた汚れを拭き取る ▶口腔ケア後は、口の周りの筋肉を動かす

【日頃から備えを】避難袋には、歯ブラシや歯磨きガム、入れ歯洗浄剤などを入れておきましょう

【問い合わせ】市民生活部健康推進課(地域保健係) ☎0220(58)2116

今月は迫図書館です

一般向け

子ども向け

PICKUP-04 「宝石鳥」



鴉澤 亜妃子/著
神の使いである宝石鳥の子孫が治めるシリャ島。植物学者と恋に落ちた女王は、海を渡り、一枚の肖像画を残して消えてしまう。死と再生のファンタジー。

PICKUP-05 「葛飾北斎」



江戸時代から世界を魅了した画狂
美術手帳/編
江戸時代の浮世絵師、葛飾北斎。名作といわれる作品約50点を現代の視点で解説しています。世界中に名をとどろかせ、影響を与え続ける魅力に迫ります。

PICKUP-06 井村屋さんの毎日ほっこり「あずきレシピ」



岩崎 啓子・栗山善四郎/監修
食物繊維とポリフェノールがたっぷり、栄養バランスに優れた小豆。毎日おいしく、健康に食べられるおかずやスイーツなどの小豆レシピを掲載。

続々新刊が入荷。詳しくは市ホームページで

PICKUP-01 「こども座右の銘280」



生きぬく力を育む
シャスタインターナショナル/編
国際政治文化研究会/監修
座右の銘とは、常に心に留めておいて、戒めや励ましとする格言のこと。歴史上の偉人、有名人や実業家など、120人が残した人生の糧となる280の言葉を紹介。

PICKUP-02 「世界を救うパンの缶詰」



菅 聖子/文・やました こうへい/絵
被災地の人たちの声を聞いた秋元さんは、パン屋の片隅で百回以上実験を繰り返しました。諦めない心が生み出した、奇跡の缶詰の物語。

PICKUP-03 「おじいちゃんじてんしゃおしえて」



たかはし のりひこ/作・絵
自転車で、みんなと公園に行きたい女の子。お母さんが乗っていた自転車をおじいちゃんに直してもらい、乗り方を練習します。交通ルールも一緒に学べる一冊。

Library Topics

みんなの図書館

利用者の声や図書館のイベントなどをお知らせします

本の返却を忘れずに

本の貸出期間は、貸出日の翌日から14日間です。返却期限を過ぎると、他の利用者の迷惑になりますので、期限内に返却してください。

毎年、本を借りたまま転出し、連絡が取れなくなる人がいます。特に、進学、就職や転勤などで転出を予定している人は、もう一度借りている本がないか確認をお願いします。

また、家族で借りている人に心当たりがある場合は、声掛けをお願いします。

住所や連絡先など、登録情報に変更がある場合は、利用者カードの登録情報を修正しますので、最寄りの図書館(室)で手続きしてください。



■開館時間 午前9時～午後5時
■休館日 毎週月曜、祝日、年末年始など(中田図書室は祝日も開室)
※その他、館内整理など不定期での休館もありますのでお問い合わせください
■問い合わせ 迫図書館 ☎22-9820
登米図書館 ☎52-5330
中田図書室 ☎34-8081

This Month Pick Up Hot Communication

Books

Health

Young

Dream

Child

Half Century

One's Home



Dream

ぼくとわたしの夢

Monthly Hot Communication

高橋 琴音さん

たかはし・ことね 南方中2年
南方町・原

恵まれない地域で助産師に

私の将来の夢は、助産師になることです。きっかけは、ラジオから流れてきたある妊婦さんの話でした。

私は小さい頃から、人を助ける仕事に就きたいと考えていましたが、どのような仕事にしようか悩んでいました。ある日、ラジオから一人の妊婦さんの話が流れてきました。紛争が続いている国に住んでおり、十分な栄養が取れなかったため、体の弱い子どもが生まれたそうです。

私は、劣悪な環境でも命がけて出産し、必死に生きようとする人たちが、たくさんいることに衝撃を受けました。そして、少しでもその人たちの助けになりたいと考えたのです。このような貧しい地域で活動することは、簡単なことではないと思います。でも、誰かのために働くことが、私の生きがいになるのではないかと思います。将来の夢に向かって、今できることにベストを尽くし、いつか貧しい地域で活躍できる助産師になりたいです。

Child

わが家のアイドル

Monthly Hot Communication



遠藤 穂乃果ちゃん(1歳)
2016年5月18日生まれ
中田町・下道
健太さんの次女

常に、お兄ちゃんとお姉ちゃんの後ろを追っかけて歩く元気娘の穂乃果。もう少しで、お姉ちゃんになります。

「ないなあ」が最近の口ぐせ。お父さんのメガネかけたら、みつかるかなあ。探しものは何ですか。見つけにくいかな(笑)。



畠山 博雅くん(1歳)
2016年9月9日生まれ
中田町・上沼新田
幸博さんの長男

Young

まちの若い衆

Monthly Hot Communication

江畑 楓さん(20)

えばた・かえで
中田町・上沼新田

★身長・血液型は 147センチ、A型です。

★現在は 1カ月前から岩手県一関市で、保険外交員をしています。まだ研修期間中で、保険契約に関する法律や接客姿勢などを学んでいます。これまでの人生で一番勉強していると思います(笑)。

★自分の性格 明るく大雑把な性格だと思います。天真らんまんという言い方もあるかなと(笑)。きょうだいや仲間からは、姉御肌で面倒見がよいと言われることも。

★趣味は 中学生から始めた「よさこい」です。中田町の「舞姿道みろく」に所属し、リーダーを任せられています。稽古は週1回で、年50回ぐらい、東北、北関東地方で演舞を披露。小学校低学年から50代まで幅広い年代で活動をしています。仲間というよりは、家族のような感じで、仲良く、時には厳しく楽しい時間を過ごしています。趣味というよりは生活の一部で「Noよさこい、Noライフ」という感じですね(笑)。

★理想の男性像 子ども好きな人がいいですね。私は6人きょうだいなので、結婚したらたくさん子どもが欲しいと思っています。「俺について来い」タイプにあこがれていますが、気付けば私が引っ張りまわしそうです。

★休日は よさこいをしているか、友達と遊んでいるか、寝ているかのどれかです。

★登米市について一言 快適すぎて、一回も登米市から出ようと思ったことがありません。遊ぶ場所などが少なくて不便だという意見もありますが、住むには少し不便なぐらいがちょうどいいかなって思います。静かで過ごしやすく、いいまちです。



～「わが家のアイドル」を募集～

3歳までの子どもたちを募集しています。ご家族の記念にいかがでしょうか。投稿お待ちしております。
＜応募方法＞①氏名(ふりがな)・性別②住所③行政区④生年月日⑤電話番号⑥掲載する保護者の氏名⑦コメント(50字程度)⑧写真データ(jpeg形式、1メガ以上のもの)を添付し応募してください。
＜応募先＞総務部市長公室広報広聴係
〒987-0511 追町佐沼字中江二丁目6番地1 Eメール: koho@city.tome.miyagi.jp
電子申請: <https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi/uketsuke/dform.do?acs=212IdolMyHome>

電子申請 QR コード





伊藤 文夫さん(80) やすゑさん(74) 南方町・平貝 1965(昭和40)年11月入籍

古里で仲良く暮らせる今が幸せ

★元々登米市住まいですか【やすゑ】お父さんが、気象庁を定年退職したのをきっかけに、20年前に戻ってきたの。【文夫】俺が裏大嶽、お母さんが平貝出身。二人とも南方っ子だね(笑)。★知り合ったきっかけは【文夫】父親に「いい年だから身を固めろ」って言われて、谷田部町(現つくば市)からお見合いに帰ってきたんだよね。【やすゑ】お見合い当日、お父さんもう一件掛け持ちしてたんだよね。ものの1時間で、次に行っちゃった(笑)。★結婚当時の思い出は【やすゑ】仕事柄仕方ないんだ

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

ウグイと不動尊に想う

1960(昭和35)年春、兄を頼って上京し上野駅に降りました。カラオケなどで「あ、上野駅」を聞くと当時を思い出して、つい涙が出てきます。涙腺が弱くなったなあと思う。故郷横山を離れて58年。渋谷区神宮前のアパートを皮切りに、転勤ごとに引越しを重ね、現在は板橋区高島平の住人です。会社を卒業して20年。今はパソコンを相手に遊び、時々ドライブがてらに買い物、といったサンデー毎日を送っています。

高野 律人さん(77)

在京津山会幹事 津山町横山字本町出身



同級生や先輩たちのことを語り合っています。 中学時代のわが家は、横山不動尊(日本3大不動尊の一つ)と加茂川のそばで、横山中学校の前にありました。夏には、加茂川で友達と不動尊境内の池から上ってくるウグイとの水遊びや、杉の原生林に囲まれた不動尊境内で、暑さをしのいだものです。ウグイは、国の天然記念物に指定されており、中川から北上川河口までが禁猟区。当時、夏の夜の川はホタルが乱れ飛び、よくホタル狩りを楽しみました。今では環境もだいぶ変わりましたが、昔の面影が多少残っている程度で寂しい限りです。 最近は何年か一度横山に帰り、小学時代に遠足で行った物見石山や翁倉山に登ったり、横山不動尊のお祭り見物や高校時代に自転車を通った北上川の土手に上がったりと、思い出の自然と空気を感取っています。

おらほの道の駅

道の駅津山 「もくもくランド」



▲色とりどりの花で、目を楽ませる「雪割草」

雪割草展示即売会を開催

今月は、道の駅津山「もくもくランド」の千葉美和さんにお話を伺いました。 Q道の駅津山で、これから開催するイベントを教えてください。 毎年、皆さんから好評を得ている「雪割草展示即売会」を3月10、11日の2日間、開催します。雪割草は、花の少ないこの時期に赤、白、ピンク、水色、紫など、多くの色を咲かせます。二段咲きや八重咲きなど、花形のバリエーションが豊富な山野草です。3月11日は、無料で甘酒を振る舞います。なくなり次第終了となりますので



豊富な品ぞろえでお待ちしています

で、早めにご来場ください。 Qこれからの季節、産直などの各店舗にはどのような商品が並びますか。 産直にはフキノトウ、タラノメやワサビの茎など、春の山菜が顔をそろえます。生シイタケも、この季節の売れ筋です。クラフトショップでは、クラフトキットの「ウエストボックス」と「小物入れ」が、組み立ても簡単で実用的と、お客さんから人気があります。 喫茶コーナーは「黒蜜ソフトクリーム」の仙台魅添えを提供。砕いて油を落とした仙台麩を、ソフトクリームに付け合わせています。お食事処は、はつとにエビなどの魚介類を入れた「はつと鍋」が名物。一味違ったはつとをお楽しみください。 【問い合わせ】道の駅津山「もくもくランド」 0225(69)2341

俳句・川柳 まちの文芸

作品募集! ●4月号は短歌です。住所・氏名・電話番号を記入し、2月28日(水)まで応募ください。作品には全てふりがなを振ってください。応募者多数の場合選考して掲載します。

俳句・川柳 趣味生かし仲間と共に吊るし雛 重なりし賀状の中に亡母の文 羊日や読書スケッチゆったりと 景気よく女の法被どんと祭 明神道払ひ正月迎えけり 福達磨に覗まれながら選びけり 福達磨合格鉢巻きりり締め

菅原たゑ子(迫) 菅原れい子(迫) 及川 澄子(東和) 及川 裕子(東和) 及川 守男(東和) 首藤 恭子(東和) 船坂 朗子(東和)

煩惱の要は残し除夜の鐘 ふくらんだこころ大事に初詣 一天に光放ちて初山河 雪晴れや餌場求めて雁の群 朝起きて忘れてしまふ初夢や 初夢や一富士二貴立行事 部屋部屋を一户と見立て注連飾 釣石に若き等祈る注連飾

五十嵐新太夫(中田) 近藤 讓行(中田) 山内 雅子(中田) 石崎よしの(米山) 佐々木敬次(石越) 佐藤 昭子(南方) 佐竹 恒子(津山) 佐藤みゑ子(津山)

応募総数24作品

情報場 Information

**夜間納税相談窓口
(2月・3月分)**
【日時】2月22日(木)
3月22日(木)
いずれも午後8時まで
【場所】市役所迫庁舎(1階)
総務部収納対策課
【問い合わせ】
総務部収納対策課(徴収対策係)
☎0220(22)2169

催し

**登米線廃線から50年
企画展「鉄道とくらし」**

1921(大正10)年10月に全線開通し、68(昭和43)年3月に廃線となった仙北鐵道登米線「軽便つこ」と呼ばれ、およそ50年間、地域交通の柱として親しまれた仙北鐵道も、人々の記憶から薄れ始めています。

企画展では、資料を通じて、私たちの町に鐵道が走っていた時代を振り返ります。

【企画展】仙北鐵道登米線廃線50年「鉄道とくらし」2～思い出の仙北鐵道～
【開催期間】3月3日(土)～5月27日(日)▼休館日：毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は、翌平日)



【場所】市歴史博物館(企画展示室)
【入館料】無料
【関連企画】
①ポストカードプレゼント
50年前の3月24日、仙北鐵道登米線が廃線になり、「お別れ列車」が走りました。この日を記念し、来館した先着25人に仙北鐵道ポストカードをプレゼントします。

募集

**第59回中田地区
ピンポン大会参加者募集**

【日時】3月22日(木)午後6時30分～(受付時間：午後6時～)

【場所】中田総合体育館
【参加資格】中田町内在住者、または勤務者

【内容】団体戦(3シングルス・硬式)▼家族・職場・友人・男女混合可▼1人で参加希望、人数がそろわない場合などは、お問い合わせください

【参加費】1人：200円
【申込方法】電話、または中田総合体育館、大会事務局に備

【日時】3月24日(土)午前9時～

②展示解説
企画展の見どころと仙北鐵道の歩みを、学芸員が解説します。

【日時】4月29日(日・祝)、5月5日(土・祝)午前11時～11時30分

【場所】市歴史博物館(企画展示室)
【参加費】無料(申込不要)

【問い合わせ】市歴史博物館
☎0220(21)5411

お知らせ

資源「ごみペットボトルはラベルを取り外して

資源ごみペットボトルは、

4月から引き取り基準が変更になります。キャップとラベルは取り外して、リサイクルステーションに分別して出してください。



れ、プラスチック製ボトル容器のコンテナに入れてください。ラベルは、燃やせるごみに出してください。

**下水道の正しい利用で
快適な生活環境を**

① 快適に利用するために
下水道は、快適な生活環境をつくる公共の財産です。大切に末長く使うため、マナーを守り、次のことを心掛けましょう。

② 水洗トイレに異物を流さない
野菜や髪の毛などの固形物、天ぷら油などの廃油を流すと、排水管や下水管が詰まり、排水不良の原因になります。油は固めて処分、フライパンや皿の油污はキッチンペーパーで拭き取ってから洗うなどの工夫をお願いします。

③ 認定制度をご利用ください
市は、井戸水などの水道水以外を使用している人、下水道に一部接続している人、醸造業・製水業などの事業を営む人で、使用水量が汚水量と著しく異なる場合に、排出汚水量を認定し、下水道使用料を算定します。建設部下水道課に備え付けの「排出汚水量申告書」に必要事項を記入の上、提出してください。申告書は、市ホームページからもダウンロードできます。年度ごとに提出が必要ですので、ご注意ください。

住宅入居者を募集	
募集する住宅	
定住促進住宅	石越定住促進住宅 1号棟202号室(2階) (石越町南郷字館前176番地1) ▶募集戸数=1戸(3DK)/家賃月額=3万500円/駐車場利用は1台まで
	石越定住促進住宅 2号棟405号室(4階) (石越町南郷字館前176番地1) ▶募集戸数=1戸(3DK)/家賃月額=2万7500円/駐車場利用は1台まで
	石越定住促進住宅 1号棟505号室(5階) (石越町南郷字館前176番地1) ▶募集戸数=1戸(3DK)/家賃月額=2万5900円/駐車場利用は1台まで
	豊里定住促進住宅 1号棟403号室(4階) (豊里町小口前185番地4) ▶募集戸数=1戸(3DK)/家賃月額=2万7500円/駐車場利用は1台まで

【入居資格】住宅に困っている世帯
※定住促進住宅は、一定以上の所得があることなどの入居要件があります。駐車場利用は、別途1台2千円かかります。詳しくは、建設部住宅都市整備課までお問い合わせください。
【申込期限】3月7日(水) ※期限厳守
【申し込み】各総合支所市民課、または建設部住宅都市整備課(市役所中田庁舎2階) ※郵送不可
【問い合わせ】建設部住宅都市整備課(住宅整備係)
☎0220(34)2316

【認定制度の該当例】▼自家水(井戸水など)を使用している▼牛や豚などの畜舎で使用している▼出荷用に年間ビニールハウスなどで野菜や花き栽培に使用している▼製造業などで製品に多量の水を使用している▼育苗などで一時的に使用する(原則1カ月分)
【問い合わせ】建設部下水道課(事業管理係)
☎0220(34)2359

DAIYU HOME CENTER
ダイエー 登米中田店

8

春の自転車勢揃い!

ご購入特典
特典1 自転車ご購入のお客様 3ヶ月点検無料
特典2 防犯登録(有料)のお客様 盗難補償付
特典3 自転車ご購入につき不要の自転車 1台無料引取

毎月8のつく日 8日 18日 28日 + 毎週土曜日

税込3,240円以上お買上げで

5倍

ポイント

ダイエーイト 登米中田店案内図 広告

宮城県登米市中田町石森字駒ヶ原400
TEL.0220-23-9433

営業時間 あさ8時～よる8時まで

確かな技術でまかせて安心 広告

電気工事・オール電化工事・電気通信工事
太陽光発電設備工事・IH、エコキュート・消防設備工事・点検

有限会社 五島電機

登米市中田町宝江新井田字荒谷60-1
TEL.0220-34-3349 FAX.34-5792

エネルギーに夢をのせて 広告

KUMANEN
熊谷燃料住設株式会社

快適生活 創造企業
災害時安定供給施設

■アクアショップ KUMANEN ■BFC クマネン 【関連企業】
■コインランドリー-清潔空間 ■なごみの家きらり ■熊谷オウイング

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐佐木北畠田 120 番 1
TEL.0220-22-2415(代) FAX.0220-22-6732
http://www.kumanen.jp E-mail:info@kumanen.jp

登米祝祭劇場 3月のイベント情報

開催日	内容	問い合わせ
3⊕ 4⊕	<p>●創作劇公演 第20回記念「夢フェスタ水の里」 耕野を駆けた旋風～南方夜明けの丈夫群像～</p> <p>【開演】3日:午後6時 4日:午後1時30分 【会場】大ホール 【入場料】大人:千円 小中高生:500円</p>  <p>※小ホールで「もっこの里 みなみかた歴史展」を同時 開催(開演1時間前に開場)</p>	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
11⊕	<p>●第24回新舞踊まつり 花のチャリティーショー 【開演】午前10時30分 【会場】大ホール 【入場料】1500円</p>	新舞会 ☎ 090(5831)5534
18⊕	<p>●登米総合産業高校吹奏楽部 第1回定期演奏会 【開演】午後1時30分 【会場】大ホール 【入場料】無料</p>	登米総合産業高校 ☎ 0220(34)4666
18⊕	<p>●ヤマハ音楽教室スプリングコンサート 【開演】午前10時 【会場】小ホール 【入場料】無料</p>	佐々木時計楽器店 ☎ 0220(22)2255
21⊕ (祝)	<p>●「母」上映会 【時間】①午前10時30分②午後2時 【会場】大ホール 【入場料】大人:1100円、小中高生700円</p>	「母」上映実行委員会 ☎ 0220(22)4283
24⊕	<p>●演劇公演「星の祭に吹く風」 【開演】午後1時30分 【会場】大ホール 【入場料】大人:3500円、高校生以下2000円</p>	東北ルーツ プロジェクト ☎ 070(6451)3325
24⊕	<p>●卒業ライブ 【開演】午後1時 【会場】小ホール 【入場料】無料</p>	登米高校 ☎ 0220(52)2670

※3月の休館日は、5日、12日、19日、26日です。
※入場料は前売り価格です。

【融資額】子ども1人当たり
350万円以内
【金利】▼年1・76%(固定金利)
／母子・父子家庭、世帯年
収200万円(所得122万
円)以内の人、子どもが3人
以上の世帯で世帯年収が
500万円(所得346万円)
以内の人は、年1・36%(平成
29年12月13日現在)

【返済期間】15年以内／交通
遺児家庭、母子・父子家庭
世帯年収200万円(所得
122万円)以内の人、子ども
が3人以上の世帯で世帯年収
が500万円(所得346万
円)以内の人は、18年以内
【使用用途】入学金、授業料、教
科書代、アパート・マンシヨ
ンの敷金・家賃など
【返済方法】毎月元利均等返済
(ボーナス時増額返済も可能)
【保証】教育資金融資保証基金
(連帯保証人による保証も可
能)

【問い合わせ】
▼教育ローンコールセンタ
☎(0570)008656
(ナビダイヤル)
☎03(5321)8656
▼日本政策金融公庫石巻支店
(国民生活事業)
☎0225(94)1201

この制度は、戸籍謄本など
の東を法定相続情報一覧図と
併せて提出することにより、
認証文を記載した写しが無料
で交付されます。各種相続手
続きの際、証明を受けた一覧
図の写しを利用することで、
戸籍謄本などの東を何度も提
出する必要がなくなります。
詳しくは、法務局までお問い
合わせください。
【問い合わせ】仙台法務局登米
支局
☎0220(52)2070



東日本急行が運営する登米
総合支所発の高速乗合バス
は、3月1日から東北大学病
院前まで延伸して運行しま
す。
【運行開始日】3月1日(木)
【運行区間】登米総合支所～東
北大学病院前(停留所) 大学
病院入口から仙台交通局方面
に約150m

【運行本数】1日2往復
【時間】▼登米総合支所発①午
前7時②午前8時▼東北大学
病院発①午後3時9分②午後
4時54分
※詳しくは、東日本急行まで
お問い合わせください。
【問い合わせ】東日本急行
☎022(218)3131

北大学病院前(停留所) 大学
病院入口から仙台交通局方面
に約150m

南方町域に 新郵便番号を設定

日本郵便は、下記の地域に新
しく郵便番号を設定しました。

地域名	郵便番号
南方町新沢田	987-0402
南方町沢田前	987-0402
南方町新丸ノ内	987-0404
南方町新山成浦	987-0414
南方町新砥落	987-0425
南方町新上砥落	987-0425
南方町新畑岡下	987-0432
南方町新嶋峯	987-0441
南方町新青島前	987-0441
南方町中高石浦	987-0442

【問い合わせ】
佐沼郵便局 ☎0220-22-3130
<http://www.post.japanpost.jp/>

ねんきんだより

異動時期は国民年金の
届け出を忘れずに

年金加入者は、職業などに
より、3つの種別に分かれま
す。20～60歳の間に種別が変
わる場合は、届け出が必要で
す。

●保険料の納付
第1号被保険者は、給料か
ら天引きされる会社員など
と異なり、自分で保険料月額
1万6490円(平成29年度)
を納めなければなりません。
加入手続き後、納付書が送付
されますので、銀行、農協、信
用組合、信用金庫、郵便局やコ
ンビニエンスストアなどの窓
口で支払うか、口座振替をご
利用ください。収入が無く、
納付が困難な場合は、申請に
よって保険料を免除または猶
予する制度があります。学生
には、学生納付特例制度があ
りますので、年金事務所また
は最寄りの総合支所市民課ま
でご相談ください。

【問い合わせ】
▼古川年金事務所
☎0229(23)1200
▼市民生活部国保年金課(年
金医療係)
☎0220(58)2166

■第1号被保険者 (学生、フリーター、自営業者、農業従事者などとその配偶者)	こんなとき	変更後の種別	届け出先
就職して厚生年金に加入したとき	第2号被保険者	勤務先	
第2号被保険者の扶養に入ったとき	第3号被保険者	配偶者の勤務先	

■第2号被保険者 (会社員、公務員など)	こんなとき	変更後の種別	届け出先
退職したとき	第1号被保険者	各総合支所市民課	
退職して第2号被保険者の扶養に入ったとき	第3号被保険者	配偶者の勤務先	

■第3号被保険者 (第2号被保険者に扶養されている配偶者)	こんなとき	変更後の種別	届け出先
収入が増えるなどして扶養から外れたとき	第1号被保険者	各総合支所市民課	
扶養している配偶者が65歳になったとき	第1号被保険者	各総合支所市民課	
就職して厚生年金や共済組合に加入したとき	第2号被保険者	勤務先	
扶養している配偶者の加入する年金制度が変わったとき	第3号被保険者	配偶者の勤務先	

人と環境への
新しい優しさを
お気軽にご相談下さい

株式会社 清建 環境プロバイダ
TEL.0220-22-7085 FAX.0220-22-7658

本社/〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字南駒木袋212-3
TEL.0220-22-9430 FAX.0220-21-1535
本社/〒987-0512 宮城県登米市迫町森字平柳14-1

有限会社 清建物流
TEL.0220-22-9430 FAX.0220-21-1535
本社/〒987-0512 宮城県登米市迫町森字平柳14-1

有限会社 リースキン宮城
TEL.0220-22-3431 FAX.0220-22-3495
〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字
下田中53番地8

厚生労働大臣許可 指定居宅サービス事業所
有限会社 はさま看護婦・家政婦紹介所
すずらん託児室・保育園
TEL.0220-22-8064 FAX.0220-23-2728
〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字中江2丁目21(中江ビル)
【すずらん託児室】TEL.0220-22-7755

株式会社 **刺蒸くまがい** ●●働く会社●● 法事・宴会 広告
中田中学校通り **0220-34-5002**

株式会社 **誠香社** 葬儀からご法要までの一環システム
登米市内ホールは5ヶ所ございます。(お選びいただけます)
24時間受付 0220-34-4856(代表)

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。

3月の納税

後期高齢者保険料・・9期

忘れずに納めましょう
納税は便利な口座振替で

納期限 / 4月2日(月)

登米市の人口・世帯数

(平成30年1月末現在)

地区	世帯数	人口(人)			計(前月比)
		男	女		
迫	7,624	10,122	10,691	20,813	(▲30)
登米	1,804	2,345	2,567	4,912	(1)
東和	2,381	3,185	3,312	6,497	(▲21)
中田	5,084	7,716	8,068	15,784	(▲27)
豊里	2,140	3,320	3,367	6,687	(▲2)
米山	2,820	4,532	4,719	9,251	(▲17)
石越	1,593	2,484	2,498	4,982	(▲5)
南方	2,668	4,239	4,446	8,685	(▲3)
津山	1,181	1,609	1,766	3,375	(▲4)
合計	27,295	39,552	41,434	80,986	(▲108)

※上記人口・世帯数には外国人住民も含まれています。

市内の交通事故発生状況

(平成30年1月末現在) ※佐沼・登米警察署調べ

	H30	H29	増減数
人身事故発生件数	8件	23件	▲15件
死者数	0人	0人	0人
負傷者数	10人	38人	▲28人
物損事故発生件数	212件	142件	70件

※平成30年1月からの延べ件数(前年同期と比較)

警察署からのお知らせ

安全で安心して暮らせる登米市の実現
「みんなで登米っぺ 高齢者の事件・事故」
～高齢者の事故防止～

市内では、高齢者の重大事故が後を絶たず、昨年は65歳以上の交通死亡事故が4件発生し、事故防止対策が喫緊の課題となっています。高齢者が事件・事故に遭わないように、地域での見守りや声掛けをお願いします。

市内放射線の測定結果

測定日:平成30年2月9日 単位:マイクロシーベルト

測定地点	測定結果	天気
消防署	0.05	雪
消防署北出張所(石越)	0.04	雪
消防署東出張所(東和)	0.04	曇り
消防署津山出張所	0.06	晴れ
消防署南出張所(豊里)	0.04	雪
消防署西出張所(南方)	0.05	雪

空間放射線量の測定結果はホームページに掲載およびメール配信しています。

- ▼石巻総合労働相談コーナー(石巻労働基準監督署内) ☎0225(22)3365
- ▼古川総合労働相談コーナー(古川労働基準監督署内) ☎0229(22)2112
- ▼瀬峰総合労働相談コーナー(瀬峰労働基準監督署内) ☎0228(38)3131
- ▼気仙沼総合労働相談コーナー(気仙沼公共職業安定所内) ☎0226(41)6725

【日時】3月9日(金)、3月23日(金)午後1時15分～4時15分
【場所】迫にぎわいセンター

一人で抱え込まないで
多重債務者無料法律相談

法テラス(日本司法支援センター)は、国が設立した法的トラブルの解決に役立つ情報、サービスを提供する法律の総合案内所です。
法テラス南三陸では、弁護士による休日無料法律相談会を開催します。相談は無料で、

【担当】9日 佐竹孝行(司法書士)、23日 及川毅(弁護士) 【相談専用電話】 ☎0220(34)2308

【相談料】無料(要電話予約)

【問い合わせ】産業経済部商業観光課(商業振興係) ☎0220(34)2734

法テラス南三陸
無料法律相談会を開催

女性医師による
女性の健康相談を開催

女性医師が、女性の健康、思春期や更年期の身体的・精神的不調、家庭や職場でのストレスなどで悩んでいる女性の相談に応じます。

【日時・場所】3月10日(土) 大河原町駅前コミュニティセンター ▼3月24日(土) 石巻市労働会館

【相談料】無料(要電話予約)

【予約先】宮城県女医会女性の健康相談室(受付時間 午前9時～午後5時 / 土日、祝日を除く) ☎090(5840)1993

【問い合わせ】県保健福祉部健康推進課(健康推進班) ☎022(211)2623

障がい者の自立に向けて
しごと相談を開催

【日時】3月27日(火) ①午前9時30分～②午前11時～③午後1時30分～④午後3時～

【おわびと訂正】
広報とめ2月号に誤りがありました。おわびして訂正いたします。▼6頁「丸山相撲クラブ」大立目直希さんの行政区 米山町栗ヶ崎

【場所】県東部保健福祉事務所登米地域事務所
※職業のあつせんではありません。せんのでご注意ください。
【相談・申し込み・問い合わせ】
▼障害者就業・生活支援センター「ゆい」 ☎0220(21)1011
☎0220(21)1012
▼福祉事務所生活福祉課(障害福祉係) ☎0220(58)5552
☎0220(58)2375

自動車・軽自動車の各種手続きはお早めに



毎年3月は、名義変更、廃車などの各種手続きや検査申請が集中し、大変混雑します。特に週末や中旬以降は、長時間お待ちいただく場合がありますので、早めの手続きをお願いします。

【問い合わせ】
●自動車に関すること
東北運輸局 宮城運輸支局(登録関係) ☎050(5540)2011(検査関係) ☎022(235)2517
●軽自動車に関すること
軽自動車協会 宮城主管事務所 ☎050(3816)1830

県石巻合同庁舎と東部土木事務所は、これまで石巻市東中里で業務をしていましたが、新庁舎が完成し、2月末から順次移転を進めます。

【移転先】986-0861 / 石巻市蛇田字新沼田12番地4街区1画地

【入居機関・業務開始日】
●東部県税事務所・東部保健福祉事務所・東部教育事務所 2月26日(月)
●東部地方振興事務所 3月5日(月)
●東部児童相談所・東部土木事務所 3月12日(月)

【主な交通アクセス】▼JR利用の場合 石巻あゆみ野駅から北へ約600m(徒歩で約8分) ▼車利用の場合 三陸自動車道石巻港ICから東へ約1.2km(車で約3分)

【問い合わせ】
▼県総務部管財課(庁舎班) ☎022(211)2354
▼県石巻合同庁舎 ☎0225(95)1411



確定申告と納付期限を
忘れずに

平成29年分の確定申告・納期限、確定申告分の振替日は次の通りです。
納税には、便利で確実な振替納税をご利用ください。一度手続きをすれば、継続して利用できますので、詳しくは、税務署までご相談ください。

【確定申告・納期限】
▼申告所得税および復興特別所得税 3月15日(木)
▼消費税および地方消費税 4月2日(月)

【確定申告分振替日】
▼申告所得税および復興特別所得税 4月20日(金)
▼消費税および地方消費税 4月25日(水)

【問い合わせ】佐沼税務署 ☎0220(22)2501

使わなくなった
こいのぼりの提供を

次代を担う子どもたちが、元気にたくましく育つよう願いを込め、毎年4、5月、浅水ふれあいセンター敷地内にこいのぼりを掲げています。家庭で使わなくなったこいのぼりを、ぜひご提供ください。

【提供可能な場合】3月31日

年金相談に応じます
年金相談所を開設

年金の相談に応じます。相談は完全電話予約制。前日までにご連絡ください。
※予約の際に「相談者氏名」「基礎年金番号」「電話番号」

【日時・場所】3月17日(土) ▼豊里公民館(午前11時～正午)
▼迫公民館(午後2時～3時)

【内容】自衛隊の仕事内容を紹介・各種募集案内
【対象】申込不要で、どなたでも参加できます。詳しくは、お問い合わせください

【問い合わせ】自衛隊宮城地方協力本部登米地域事務所 ☎0220(34)2244

相談

「相談内容」などを確認させていただきます。

【日時】3月22日(木) 午前9時30分～正午、午後1時～3時30分

【場所】市役所南方庁舎(2階中会議室)

【予約受付・問い合わせ】古川年金事務所 ☎0229(23)1200

職場のトラブルを解決
宮城労働局に相談を

労働者と事業主のトラブルが増えています。宮城労働局は、労働関係の紛争を未然に防ぎ、迅速な解決を促進するため、次の制度を無料で実施しています。

労働問題でお困りの場合は、総合労働相談コーナーをご利用ください。

●総合労働相談コーナーでの情報提供・相談
●宮城労働局長の助言・指導
●紛争調整委員会のあつせん

【相談・問い合わせ】
▼宮城労働局総合労働相談コーナー(宮城労働局雇用環境・均等室内) ☎022(299)8834
▼仙台総合労働相談コーナー(仙台労働基準監督署内) ☎022(299)9075

ときめき人

Tokimeki bito

未来に残したい「幻の観音寺セリ」



セリを作付けている農家の皆さん。前列左から尾形富子さん、木村明美さん、後列左から上野邦夫さん、上野良さん、木村壽さん、木村定子さん

雪がちらつく12月下旬、寒さに凍えながら、湧き水でセリを洗う。おひたし、みそ汁、てんぷらなどにして味わうと美味。

長沼フットピア公園の東に位置する北方観音寺地区。ここでは、古くから代々伝わる地セリ「観音寺セリ」が7戸の農家の手で、20アほどの田に植えられている。

木村定子さん(79)は「嫁いだ頃は、一面セリが植えらいてだんだげど。やる人も減って、荒れでる田んぼも増えだね」と、寂しげな表情を浮かべる。

弘法大師が、諸国行脚の途中にこの地に立ち寄った際、住民の親切な行動に感激し、お礼に井戸を授けた。井戸の「弘法水」で「セリ」を栽培するよう話したことが、観音寺セリの始まりと伝えられている。他の地区で、このセリを栽培してもうまく成長せず、弘法水を利用するという神秘的な由来から「幻のセリ」ともいわれている。

観音寺セリは香りと甘みが強く、しゃきしゃきした食感が特徴。フレンチの達人、仙台ロイヤルパークホテルの池田一之総料理長がほれ込み、ホテルのメニューに加えたほどで、素材の良さは折り紙つきだ。市場に出回ることではなく、自分たちで食べたり、欲しい人に販売したりする程度だ。

セリの定植、収穫は全て手作業。「根セリ」は、12月上旬から下旬にかけて収穫する。厳しい寒さの中での作業に、若い年代は離れていき、作付け農家は7戸まで減ったが、近年かすかに光が差ししてきた。「『幻の逸品』を幻にしたくない」と、Uターン者や市内の青年たちが田を借り受け、セリ作りを始めた。「自分たちでこせで(作って)食うど、うんとうめえんだ」。木村さんは目じりを下げた。

編集後記

▼昨年は、ほとんど雪も降らず暖かい冬だった。今年、雪がそれなりに降り、寒い日が続いている。5年ほど前には、マイナス15度以下という日が何日も続いたこともあった。毎年同じではない。しかし、変わらないこともある。7年前に大きな地震があったこと。忘れてはならない。(及川)

▼特集「感謝のキモチ」を担当。大切な家族や教え子を思い、信じて応援する。そして、それに対して応える。取材を通して、あらためて感謝することの意味を、考えさせられました。時間のないうち、取材にご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。どうぞよい夜明が早くなっていることを実感。追町の河川敷にあった雪だるまも解けかかっている。春が近くまで来ていることを感じ、待ち遠しくなります。

先日、火伏せを願う伝統行事「米川の水かぶり」へ。寒波の影響でまだまだ寒さが続く日々ですが、火の元には十分ご注意ください。(伊藤)



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)

<https://mail.cous.jp/tomecity/>

